



今尾の子



令和5年度 えのき通信
海津市立今尾小学校だより
令和5年9月1日

「実りと前進」の二期期のスタートにあたって

今年度は四十二日間の夏休みを確保することができ、夏休みにしかできない貴重な体験をすることができた子もたくさんいたことと思います。一学期は大きな怪我や病気もなく、無事に児童が過ごすことができたのは、保護者の皆様や地域の方々のおかげであることに感謝いたします。

さて、今日から二期期がスタートし、学校にまた児童たちの元気な声に戻ってきました。

二期期は、このまま順調にいけば、七十九日間の授業日となります。一年で一番長い学期となる二期期ですので、心身ともに大きく成長できる期間になることが予想されます。そんな中、私たち教職員は、熱中症等の学校事故を防ぐことに加え、「**実りとさらなる前進のための二期期**」にすることを確認し合い今日を迎えました。

一学期の間、児童たちは、児童会活動を軸に自分たちの学校生活の足元となる土台の部分の見つめ直しに徹し、個々のこだわりと持ち味を生かしながら、誰もが前向きに学びに向かうことができる学校づくり

ラジオ体操・三世代交流 (8/5)



取り組んできました。取組の根底には、コロナ禍での制限の中でつかみ取った「**日常こそが自分たちの生活の向上のための重要なポイントである**」という考え方をより確かなものとし、日常活動の充実の中で自分磨きを進めてきました。そんな個々や集団で蓄えてきた力が本物の力であるかどうかを確かめる場が、校外学習であったり、学校行事(宿泊研修)であったりします。二期期に準備されている校外での学習や行事は、自分たちが試される場になることを一緒に確認し合いながら、これまで培ってきた力

を実らせ、自分への自信を深め、学校全体としてのさらなる前進を、全員で確認し合えるように導いていかなければならないと考えております。

学校では「**すべきこと**」を見極め、上記のように児童たちと一緒に、さらなる前進を求めながら進んで参りたいと考えております。各ご家庭におきましても、お子様の健康管理と併せて、高い目標を掲げて努力し続けることができるような励ましや環境づくり等を、どうぞよろしく願っています。

海津市スクールサミットに参加して

八月二十二日(火)に「海津市スクールサミット」が行われました。『あったかい絆宣言で、みんなが安心、安全、あったかい

気持ちで過ごせるように』という願いを込めて、毎年行われています。児童・生徒によって「あったかい絆宣言」を作成して、今年で8年目になります。市内の小・中学校、高等学校、特別支援学校に通う児童生徒によって創り上げた宣言をもとに、代表児童生徒が集まって各校での実践交流や、意見交流を行い、毎年アップグレードしていくことは、とても大切だと思います。

本校からは、高木優空さん(六年生)が学校の代表として参加してくれました。本校においても、SNSトラブルやタブレットの使い方については、課題があります。ICT機器を有効活用しながら、学習をよりよく進める環境にしていきたいと思っておりますので、学校でも情報モラル等について指導していきますが、各ご家庭におかれましても、今一度「あったかい絆宣言」の内容について、話題にしてみてくださいませよう、お願いいたします。

夏休み明け(二期期スタート)の生活について

夏休み明けの生活では、コロナ感染症予防に加えて、熱中症予防にも十分気を付けて教育活動を進める必要があります。ご家庭におかれましても、十分な「**睡眠時間の確保**」の見届けをお願いします。

岐阜県が定める暑さ指数(WBGT)を判断の基準として活動の中止やこまめな水分補給等、できる限りの手を打ち全職員でお子様の命を守ります。

(高橋 崇敏)

